

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 FCM株式会社

上場取引所 東

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,374	11.6	101	—	128	192.9	61	—
25年3月期第3四半期	11,989	△14.3	9	△93.9	43	△74.4	△219	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.15	—
25年3月期第3四半期	△128.77	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9,482	—	3,263	—	34.4	—	1,915.18	—
25年3月期	9,277	—	3,193	—	34.4	—	1,874.32	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,263百万円 25年3月期 3,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	6.2	120	—	150	—	90	—	52.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	1,704,267 株	25年3月期	1,704,267 株
26年3月期3Q	425 株	25年3月期	348 株
26年3月期3Q	1,703,911 株	25年3月期3Q	1,703,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は売上高13,374,913千円（前年同期比11.6%増）、営業利益101,183千円（前年同期比1,005.9%増）、経常利益128,317千円（前年同期比192.9%増）、四半期純利益61,597千円（前年同四半期は四半期純損失219,421千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は3,679,741千円（前年同期比5.2%増）となりました。過熱気味であったスマートフォンやタブレット端末の需給が落ち着くなかで部品の在庫調整や主要ユーザーでの生産調整を受け、コネクタ関連では依然として厳しい状況が続いています。一方で、設備投資の回復や自動車メーカーの増産を受けて、産業機器や自動車向けのデバイス部品需要は堅調に推移しました。その結果、セグメント利益は68,531千円（前年同四半期はセグメント損失2,734千円）となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は9,695,172千円（前年同期比14.2%増）となりました。円安の影響などで国内の銅建値が比較的高値で推移しているほか、建設・電販向けなどで受注回復の兆しも見え始めました。異型線関連での拡販、コスト管理の取組みも継続しております。その結果、セグメント利益は59,786千円（前年同期比28.4%増）となりました。

売上高

単位（千円）

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	3,498,995	29.2%	3,679,741	27.5%	5.2%
電気機能線材事業	8,490,932	70.8%	9,695,172	72.5%	14.2%
合計	11,989,928	100.0%	13,374,913	100.0%	11.6%

加工売上高

単位（千円）

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,577,261	71.1%	1,711,791	71.5%	8.5%
電気機能線材事業	642,644	28.9%	682,882	28.5%	6.3%
合計	2,219,905	100.0%	2,394,674	100.0%	7.9%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は9,482,360千円となり、前事業年度末に比べ204,474千円増加しました。これは受取手形及び売掛金が750,168千円増加したこと、現金及び預金が137,869千円、仕掛品が143,037千円及び有形固定資産が230,122千円減少したことなどによるものです。

負債合計は6,219,198千円となり、前事業年度末に比べ135,009千円増加しました。これは買掛金441,536千円の増加のほか、借入金が267,440千円減少したことなどによるものです。

純資産は3,263,161千円となり、前事業年度末に比べ69,464千円増加しました。これは、当第3四半期累計期間の四半期純利益等を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて137,869千円減少し、789,266千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、250,888千円の収入（前年同四半期累計期間は563,609千円の収入）となりました。主な収入は税引前四半期純利益121,441千円、減価償却費319,418千円、たな卸資産の減少額145,747千円、仕入債務の増加額441,536千円であり、主な支出は売上債権の増加額750,168千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出135,304千円や有形固定資産の売却による収入31,000千円などにより106,165千円の支出（前年同四半期累計期間は161,370千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出267,440千円などにより282,592千円の支出（前年同四半期累計期間は432,859千円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期会計期間において、電気機能線材事業は引き続き主要ユーザーを中心に堅調な引き合いが予想されており、計画通りの業績を見込んでいます。しかしながら、電子機能材事業では民生向けコネクタ関連の回復が当初の計画よりも遅れる見込みとなっております。また、産業機器や自動車向けのデバイス部品も在庫調整の局面に入りつつあり、コネクタ関連の落込みを補うまでには至らない見込みです。

その結果、当初の通期業績予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想の修正をすることとします。詳細については、本日（平成26年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,135	789,266
受取手形及び売掛金	3,861,463	4,611,631
仕掛品	250,868	107,831
原材料及び貯蔵品	273,573	270,864
繰延税金資産	64,470	18,323
その他	23,427	29,234
貸倒引当金	△6,508	△7,833
流動資産合計	5,394,429	5,819,317
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	868,265	806,767
機械及び装置（純額）	766,097	664,441
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	74,811	21,810
その他（純額）	110,990	97,022
有形固定資産合計	3,684,146	3,454,024
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	21,218	34,535
繰延税金資産	157,772	155,319
その他	29,963	29,662
貸倒引当金	△20,462	△20,357
投資その他の資産合計	188,491	199,159
固定資産合計	3,883,456	3,663,043
資産合計	9,277,886	9,482,360

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,214,200	3,655,737
1年内返済予定の長期借入金	379,920	285,920
未払法人税等	7,327	18,481
その他	339,140	257,882
流動負債合計	3,940,589	4,218,021
固定負債		
長期借入金	1,724,408	1,550,968
退職給付引当金	360,401	373,813
役員退職慰労引当金	58,790	—
その他	—	76,395
固定負債合計	2,143,599	2,001,176
負債合計	6,084,188	6,219,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,682,603	1,744,200
自己株式	△820	△948
株主資本合計	3,196,403	3,257,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,705	5,289
評価・換算差額等合計	△2,705	5,289
純資産合計	3,193,697	3,263,161
負債純資産合計	9,277,886	9,482,360

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,989,928	13,374,913
売上原価	11,054,013	12,349,303
売上総利益	935,915	1,025,610
販売費及び一般管理費	926,765	924,426
営業利益	9,149	101,183
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	697	696
助成金収入	35,743	11,170
スクラップ売却益	7,849	22,666
その他	5,522	5,238
営業外収益合計	49,817	39,777
営業外費用		
支払利息	12,099	9,109
売上割引	3,051	2,674
その他	—	859
営業外費用合計	15,150	12,642
経常利益	43,816	128,317
特別利益		
固定資産売却益	832	—
特別利益合計	832	—
特別損失		
固定資産売却損	4,187	3,095
固定資産除却損	12,670	3,781
減損損失	226,534	—
厚生年金基金解散に伴う損失	17,812	—
特別損失合計	261,203	6,876
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△216,554	121,441
法人税、住民税及び事業税	9,341	15,644
法人税等調整額	△6,473	44,199
法人税等合計	2,867	59,844
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219,421	61,597

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△216,554	121,441
減価償却費	343,426	319,418
減損損失	226,534	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44,958	△58,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	30,398	13,412
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△537	1,219
受取利息及び受取配当金	△702	△701
支払利息	12,099	9,109
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,354	3,095
固定資産除却損	12,670	3,781
厚生年金基金解散に伴う損失	17,812	—
売上債権の増減額 (△は増加)	317,161	△750,168
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,456	145,747
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,162	441,536
その他	△38,945	12,597
小計	667,466	261,699
利息及び配当金の受取額	702	701
利息の支払額	△12,066	△9,122
法人税等の支払額	△76,407	△3,707
厚生年金基金解散に伴う支出	△17,812	—
その他	1,727	1,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,609	250,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△923	△921
投資有価証券の売却による収入	3,500	—
有形固定資産の取得による支出	△179,615	△135,304
有形固定資産の売却による収入	19,401	31,000
有形固定資産の除却による支出	△6,076	—
無形固定資産の取得による支出	—	△460
その他	2,343	△480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,370	△106,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△282,452	△267,440
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,194	△10,839
自己株式の取得による支出	△70	△128
配当金の支払額	△34,084	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432,859	△282,592
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,620	△137,869
現金及び現金同等物の期首残高	844,648	927,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	814,028	789,266

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,498,995	8,490,932	11,989,928
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,498,995	8,490,932	11,989,928
セグメント利益又は損失 (△)	△2,734	46,551	43,816

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
減損損失	1,300	—	1,300

報告セグメントに配分されない減損損失は225,233千円であります。これは従来報告セグメントに含まれていた一部の資産につきまして、貸借目的に変更したことに伴い全社管理の資産に振替えられたもの等から発生しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,679,741	9,695,172	13,374,913
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,679,741	9,695,172	13,374,913
セグメント利益	68,531	59,786	128,317

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。